

防衛省訓令第 8 2 号

防衛施設周辺対策事業補助金等交付規則（平成 1 9 年防衛施設庁告示第 9 号）を実施するため、施設区域新規提供関係事業補助金交付要綱を次のように定める。

平成 1 9 年 8 月 2 5 日

防衛大臣 小池 百合子

施設区域新規提供関係事業補助金交付要綱

改正 令和 2 年 1 2 月 2 8 日防衛省訓令第 6 7 号

改正 令和 5 年 3 月 3 1 日防衛省訓令第 2 2 号

（通則）

第 1 条 条約に基づき日本国にある外国軍隊の使用に供する施設及び区域（以下「施設及び区域」という。）の取得に伴い必要となる措置で、当該施設及び区域並びにこれに隣接する地域において地方公共団体が行う事業（以下「新規提供関係事業」という。）に対する補助金の交付に関しては、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和 3 0 年法律第 1 7 9 号）、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行

令（昭和30年政令第255号）及び防衛施設周辺対策事業補助金等交付規則（以下「交付規則」という。）に定めるもののほか、この訓令の定めるところによる。

（補助金の交付）

第2条 地方防衛局長及び東海防衛支局長は、新規提供関係事業の実施に必要な経費に対し、予算の範囲内において地方公共団体に補助金を交付するものとする。

（補助金の対象となる範囲）

第3条 前条に規定する経費は、次の各号に掲げる経費とする。

（1） 工事費 新規提供関係事業としての工事（以下「工事」という。）に必要な本工事費（直接工事費、間接工事費及び一般管理費等をいう。）、附帯工事費、測量及び試験費、用地費及び補償費、施設及び機械器具費、各種工事負担金並びに工事雑費

（2） 実施設計費 工事の設計図書（工事の施工に

必要な図面及び仕様書をいう。以下同じ。)の  
作成に要する経費

- (3) 地方事務費 補助事業者が工事の実施に附帯  
して必要とする人件費、物品費その他の事務費  
(補助金の額)

第4条 工事費及び実施設計費に対する補助金の額は、  
次の各号に掲げる工事別に、当該各号に定める補助率  
を工事費及び実施設計費に乗じて得た額の範囲内の額  
とする。

- (1) 道路（道路法（昭和27年法律第180号）  
第13条第1項の規定により国土交通大臣が管  
理するものを除く。）、通路、水道施設、水路  
等の工作物及びそれらの附属施設等の代替工事

100パーセント

- (2) 建築物の移築工事 100パーセント

- (3) 前2号に掲げる工事以外の工事 その都度防  
衛大臣の定める率

2 工事の施工に伴い不要の資材等を生じ、かつ、これ

らに価値がある場合には、前項の規定にかかわらず、当該資材等のその後の利用等を勘案して適正に評価した額を同項の規定による額から控除した額を工事費補助金の額とする。

- 3 地方事務費に対する補助金の額は、当該事務に係る工事について第1項に定める補助率を地方事務費に乗じて得た額とする。この場合において、地方事務費の額は、工事費の5パーセントを超えてはならない。

(補助金等交付申請書の様式等)

第5条 交付規則第3条第1項に規定する補助金等交付申請書の様式は、別記第1号様式(国庫債務負担行為に係る事業の場合にあっては、別記第2号様式)とし、同項に規定する添付書類は、次の各号に掲げる書類とする。

(1) 別記第3号様式(国庫債務負担行為に係る事業の場合にあっては、別記第4号様式)による事業の内容及び経費配分書

(2) 別記第5号様式による収支予算書

(軽微な変更)

第6条 交付規則第4条第1項第1号に規定する軽微な変更は、次の各号に掲げる変更とする。

(1) 事業の経費の配分の変更のうち次に掲げる経費の流用による変更で、流用先の経費（工事費については各種別経費（本工事費、附帯工事費、測量及び試験費、用地費及び補償費、施設及び機械器具費、各種工事負担金並びに工事雑費をいう。以下同じ。））の増加額が変更前の当該経費に100分の20を乗じて得た額（当該額が20万円未満である場合には20万円）を超えないもの

ア 工事費の各種別経費相互間の流用。ただし、工事雑費への流用を除く。

イ 工事雑費又は地方事務費から実施設計費への流用

ウ 実施設計費から工事費（工事雑費を除く。）への流用

エ 地方事務費から工事費への流用

(2) 事業の内容の変更のうち、次に掲げる変更以外の変更

ア 設計図書の作成に必要な調査の種類又は方法の変更

イ 工事施工場所又は構造物の規模若しくは基本構造の変更。ただし、誤測又は違算によるわずかな変更を除く。

ウ 建築設備機器（建築設備（建築基準法（昭和25年法律第201号）第2条第3号に規定する建築設備をいう。）の部分となって用いられる機械又は器具のうち重要な機械又は器具をいう。）の品目、規格、型式又は数量の変更

エ 建物の主要構造部（建築基準法第2条第5号に規定する主要構造部をいう。）、工法又は仕上材料の変更

オ 施設及び機械器具費に係る仮設物の数量又

は1基当たり50万円を超える機械器具の品  
目、規格、型式若しくは数量の変更

カ 本工事費若しくは附帯工事費の算定の基礎  
となる工種ごとの額又は測量及び試験費、用  
地費及び補償費若しくは施設及び機械器具費  
の算定の基礎となる区分ごとの額の変更（当  
該区分に係る額が、当該工種又は区分の変更  
前の額に100分の20を乗じて得た額（当  
該額が200万円を超える場合は200万円  
）を超えるものに限る。）を伴う補助事業の  
内容の変更

キ 補助事業の完了予定期日の1月以上の延期  
又は当該期日の属する年度の翌年度にわたる  
延期

（補助事業等計画変更承認申請書の様式）

第7条 交付規則第4条第1項第1号に規定する補助事  
業等計画変更承認申請書の様式は、別記第6号様式（  
国庫債務負担行為に係る事業の場合にあっては、別記

第 7 号様式) とする。

(遂行困難な場合の報告)

第 8 条 交付規則第 4 条第 1 項第 3 号の規定による報告は、補助事業の遂行が困難となった理由及び補助事業の遂行状況を記載した書類を提出することによって行うものとする。

(状況報告)

第 9 条 交付規則第 6 条の報告書の様式及び提出時期は、次のとおりとする。

報告書の種類	報告書の様式	提出時期
補助事業等着手報告書	別記第 8 号様式 (国庫債務負担行為に係る事業の場合にあっては、別記第 9 号様式)	補助事業の着手後 7 日以内



補助事業等遂行状況報告書	別記第10号様式（国庫債務負担行為に係る事業の場合にあつては、別記第11号様式）	補助事業の着手後毎会計年度12月31日現在の遂行状況を翌月14日まで
--------------	--	------------------------------------

2 次の各号に掲げる場合には、補助事業等遂行状況報告書の提出は要しない。ただし、補助事業に着手した年度の次年度以降は除く。

(1) 補助事業の着手後3月以内に補助事業が完了する場合

(2) 補助事業の着手後1月以内に12月31日になる場合

(補助事業等実績報告書の様式等)

第10条 交付規則第7条に規定する補助事業等実績報告書の様式及び同条に規定する添付書類は、次の表の区分に応じ、同表に定めるところによる。

区 分	補助事業等実績報告書の様式	添 付 書 類
補助事業が完了した場合（補助事業の廃止の承認を受けた場合を含む。）	別記第12号様式（国庫債務負担行為に係る事業の場合にあつては、別記第13号様式）	別記第14号様式（国庫債務負担行為に係る事業の場合にあつては、別記第15号様式）による収支精算書
		別記第16号様式による完了検査等調書
		完了設計書

会計年度内に 当該交付決定 の対象となっ た補助事業が 完了しない場 合	別記第17号様式 (国庫債務負担行 為に係る事業の場 合にあっては、別 記第18号様式)	別記第19号様 式による年度末 収支状況調書
		出来高工程表

(委任規定)

第11条 この訓令の実施に関し必要な事項は、地方協  
力局長が定める。

附 則

この訓令は、平成19年9月1日から施行する。

附 則 (令和2年12月28日防衛省訓令第67  
号) (抄)

(施行期日)

1 この訓令は、令和2年12月28日から施行する。

ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める  
日から施行する。

( 1 ) ・ ( 2 ) ( 略 )

( 経過措置 )

2 この訓令の施行の際現にあるこの訓令による改正前の様式（次項において「旧様式」という。）により使用されている書類は、この訓令による改正後の様式によるものとみなす。

3 この訓令の施行の際現にある旧様式による用紙については、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

附 則（令和 5 年 3 月 3 1 日防衛省訓令第 2 2 号）

( 施行期日 )

1 この訓令は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

( 経過措置 )

2 この訓令の施行の際、現にこの訓令による改正前の様式により使用されている書類は、この訓令による改正後の様式によるものとみなす。

別記第1号様式（第5条関係）

補助金等交付申請書

文書番号  
令和 年 月 日

防衛局長  
東海防衛支局長 殿

申請者 住 所  
氏 名

令和 年度において、下記のとおり を実施したいので、施設区域新規提供関係事業補助金交付要綱により補助金の交付を申請する。

記

- 1 事業の目的：
- 2 補助金等交付申請額： 円
- 3 事業の内容及び経費配分：事業の内容及び経費配分書に記載のとおり
- 4 事業実施予定期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
- 5 収支予算：収支予算書に記載のとおり

添付書類：1 事業の内容及び経費配分書  
2 収支予算書

別記第2号様式（第5条関係）

補助金等交付申請書

文書番号  
令和 年 月 日

防衛局長  
東海防衛支局長 殿

申請者 住 所  
氏 名

令和 年度において、下記のとおり を実施したいので、施設区域新規提供関係事業補助金交付要綱により国庫債務負担行為に係る事業として補助金の交付を申請する。

記

- 1 事業の目的：
- 2 補助金等交付申請額： 円  
〔 国庫債務負担年割額 令和 年度 円 〕  
〔 令和 年度 円 〕
- 3 事業の内容及び経費配分：事業の内容及び経費配分書に記載のとおり
- 4 事業実施予定期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
- 5 収支予算：収支予算書に記載のとおり

添付書類：1 事業の内容及び経費配分書  
2 収支予算書

注： 国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、国庫債務負担年割額の区分について適宜追加すること。

事業の内容及び経費配分書

事業の名称：

施 工 場 所	工種・ 品目・ 調査の 種類等	構造・工法・ 規格・型式・ 調査の方法 等	事業量 又 は 数 量	経 費 の 配 分			国 庫 補 助 割 合	経 費 負 担 の 内 訳					備 考
				経 費 の 区 分	工 事 費 の 区 分	事 業 費		国 庫 補 助 金	都 道 府 県 費	市 町 村 費	そ の 他	計	
						円		円	円	円	円	円	

注： 経費の算出基礎となった書類（設計図書等）を添付すること。

事業の内容及び経費配分書

事業の名称：

施 工 場 所	工種・ 品目・ 調査の 種類等	構造・工法・ 規格・型式・ 調査の方法 等	事業量 又は 数量	経 費 の 配 分			国庫 補助 割合	経 費 負 担 の 内 訳						備 考
				経 費 の区分	工事費 の区分	事業費		国庫補助金		都道府 県 費	市町 村費	その 他	計	
								年割額						
								令和 年度	令和 年度					
						円		円	円	円	円	円	円	

注：1 経費の算出基礎となった書類（設計図書等）を添付すること。

2 国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、年割額の区分について適宜追加すること。



別記第5号様式（第5条関係）

収 支 予 算 書

事業の名称：

1 収入の部

費 目	予 算 額	内 訳	備 考
	円	円	

2 支出の部

費 目	予 算 額	内 訳	備 考
	円	円	

3 事業者の予算議決（又は議決予定）年月日：令和 年 月 日

注： 収支予算には、国庫補助金以外の財源も併せて記載すること。

別記第6号様式（第7条関係）

補助事業等計画変更承認申請書  
（新規提供関係事業）

文 書 番 号  
令和 年 月 日

防衛局長  
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所  
氏 名

令和 年 月 日付け 号で補助金交付決定の通知があった  
の実施について、別紙理由書に記載した理由により事業の内容及び経費の配分を変更  
したいので、関係書類を添えて申請する。

注： 関係書類は、補助金等交付申請書又は補助事業等計画変更承認申請書に添付  
された書類並びに当該書類に添付された書類及び図面の各葉のうち、補助事業  
等の計画の変更に伴い変更を必要とする事項が記入されている各葉について、  
書類にあっては変更前と変更後の補助事業等の計画の相違を容易に比較対照で  
きるよう所要の修正を加えたものとし、図面にあっては変更後の内容を明示し  
たものとする。

別記第7号様式（第7条関係）

補助事業等計画変更承認申請書  
（新規提供関係事業）

文書番号  
令和 年 月 日

防衛局長  
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所  
氏 名

令和 年 月 日付け 号で国庫債務負担行為に係る事業として補助金交付決定の通知があった の実施について、別紙理由書に記載した理由により事業の内容及び経費の配分を変更したいので、承認を受けたく関係書類を添えて申請する。

注： 関係書類は、補助金等交付申請書又は補助事業等計画変更承認申請書に添付された書類並びに当該書類に添付された書類及び図面の各葉のうち、補助事業等の計画の変更に伴い変更を必要とする事項が記入されている各葉について、書類にあっては変更前と変更後の補助事業等の計画の相違を容易に比較対照できるよう所要の修正を加えたものとし、図面にあっては変更後の内容を明示したものとする。

別記第8号様式（第9条関係）

補助事業等着手報告書  
（新規提供関係事業）

文書番号  
令和 年 月 日

防衛局長  
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所  
氏 名

令和 年 月 日付け 号で補助金交付決定の通知があった  
について着手したので、下記のとおり報告する。

記

1 契約の状況等

(1) 設計金額： 円

(2) 契約額： 円

2 着手年月日：令和 年 月 日

3 完了予定年月日：令和 年 月 日

4 契約の結果生じた補助金の額の剰余額： 円

注： 2件以上の契約を締結する場合は、記中1の事項を契約ごとに記載すること。

別記第9号様式（第9条関係）

補助事業等着手報告書  
（新規提供関係事業）

文書番号  
令和 年 月 日

防衛局長  
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所  
氏 名

令和 年 月 日付け 号で国庫債務負担行為に係る事業として補助金交付決定の通知があった 号について着手したので、下記のとおり報告する。

記

1 契約の状況等

(1) 設計金額： 円

(2) 契約額： 円

2 着手年月日：令和 年 月 日

3 完了予定年月日：令和 年 月 日

4 契約の結果生じた補助金の額の剰余額： 円

注： 2件以上の契約を締結する場合は、記中1の事項を契約ごとに記載すること。

別記第10号様式（第9条関係）

補助事業等遂行状況報告書  
（新規提供関係事業）

文書番号  
令和 年 月 日

防衛局長  
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所  
氏 名

令和 年 月 日付け 号で補助金交付決定の通知があった  
について、令和 年 月 日現在の遂行状況を下記のとおり報告する。

記

1 収支の状況

(1) 収入の部

費 目	予 算 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	備 考
	円	円	円	

(2) 支出の部

費 目	予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	備 考
	円	円	円	

2 出来高の状況

経費の区分 及び工事費 の区分	工種・品目 ・調査の種 類等	交 付 決 定		出 来 高		進捗率 $\left(\frac{(B)}{(A)} \times 100\right)$	補助金 の交付 済 額	備考
		事 業 量 又 は 数 量	事 業 費 (A)	事 業 量 又 は 数 量	事 業 費 (B)			
			円		円	%	円	

注： 地方事務費及び工事雑費に関する出来高の状況は、記載の必要がない。

別記第 1 1 号様式（第 9 条関係）

補助事業等遂行状況報告書  
(新規提供関係事業)

文 書 番 号  
令和 年 月 日

防衛局長  
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所  
氏 名

令和 年 月 日付け 号で国庫債務負担行為に係る事業として補助金交付決定の通知があった について、令和 年 月 日現在の遂行状況を下記のとおり報告する。

記

1 収支の状況

(1) 収入の部

費 目	予 算 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	備 考
	円	円	円	

(2) 支出の部

費 目	予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	備 考
	円	円	円	



2 出来高の状況

経費の 区分及 び工事 費の区 分	工種・ 品目・ 調査の 種類等	交付決定		出来高		進捗率 $\left(\frac{(B)}{(A)} \times 100\right)$	補助金の 交付済額		備考	
		事業 量又 は数 量	事業費 (A)	事業 量又 は数 量	事業費 (B)		年割額			
							令和 年度	令和 年度		
			円		円	%	円	円	円	

注：1 地方事務費及び工事雑費に関する出来高の状況は、記載の必要がない。

2 国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、年割額の区分について適宜追加すること。

別記第12号様式（第10条関係）

補助事業等実績報告書  
（新規提供関係事業）

文書番号  
令和 年 月 日

防衛局長 殿  
東海防衛支局長

補助事業者 住 所  
氏 名

令和 年 月 日付け 号で補助金交付決定の通知があった  
を実施したので、下記のとおり報告する。

記

- 1 事業所要額： 円
- 2 補助金交付決定額： 円
- 3 収支精算：収支精算書に記載のとおり
- 4 事業実施期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
- 5 事業の内容及び成果

経費の区分及び工事費の区分	工種・品目・調査の種類等	交付決定		実績		差引増△減額 (A)－(B) 比較	備考
		事業量又は数量	事業費(A)	事業量又は数量	事業費(B)		
			円		円	円	

- 6 事業の成績：完了検査等調書に記載のとおり

添付書類：1 収支精算書  
2 完了検査等調書  
3 完了設計書

別記第13号様式（第10条関係）

補助事業等実績報告書  
（新規提供関係事業）

文書番号  
令和 年 月 日

防衛局長  
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所  
氏 名

令和 年 月 日付け 号で国庫債務負担行為に係る事業として補助金交付決定の通知があった を実施したので、下記のとおり報告する。

記

- 1 事業所要額： 円  
2 補助金交付決定額： 円  
〔 国庫債務負担年割額 令和 年度 円 〕  
〔 令和 年度 円 〕  
3 収支精算：収支精算書に記載のとおり  
4 事業実施期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで  
5 事業の内容及び成果

経費の区分及び工事費の区分	工種・品目・調査の種類等	交付決定		実績		差引増△減額 (A)－(B) 比較	備考
		事業量又は数量	事業費(A)	事業量又は数量	事業費(B)		
			円		円	円	

- 6 事業の成績：完了検査等調書に記載のとおり

- 添付書類：1 収支精算書  
2 完了検査等調書  
3 完了設計書

注：国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、国庫債務負担年割額の区分について適宜追加すること。

別記第14号様式（第10条関係）

収 支 精 算 書

事業の名称：

1 収入の部

費 目	予 算 額	精 算 額	差 引 増 △ 減	備 考
	円	円	円	

2 支出の部

費 目	予 算 額	精 算 額	差 引 増 △ 減	備 考
	円	円	円	

3 国庫補助金精算

費 目	補助金交付 決定額	精算事業 費総額	国庫補助 割合	国庫補助 金精算額	概算払受 領総額	差引国庫補 助金未受領 (返還)額	備 考
	円	円		円	円	円	

別記第15号様式（第10条関係）

収 支 精 算 書

事業の名称：

1 収入の部

費 目	予 算 額	精 算 額	差 引 増 △ 減	備 考
	円	円	円	

2 支出の部

費 目	予 算 額	精 算 額	差 引 増 △ 減	備 考
	円	円	円	

3 国庫補助金精算

費目	補助金 交付決 定額	精算事 業費総 額	国庫 補助 割合	国庫補助金精算額				概算払 受領総 額	差引国庫補 助金未受領 (返還)額	備考
				年 割 額		令和 年度	令和 年度			
				令和 年度	令和 年度					
	円	円			円	円	円	円		

注： 国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、年割額の区分について適宜追加すること。

別記第16号様式（第10条関係）

完了検査等調書

事業の名称：

1 完了検査調書

(1) 完了年月日：令和 年 月 日

(2) 完了検査年月日：令和 年 月 日

2 備品等調書

品名	規格	数量	購入単価	購入金額	購入年月日	耐用年数	継続使用 希望の有 無	備考
			円	円				

別記第17号様式（第10条関係）

補助事業等実績報告書  
(新規提供関係事業)

文書番号  
令和 年 月 日

防衛局長  
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所  
氏 名

令和 年 月 日付け 号で補助金交付決定の通知があった  
の令和 年度における実績について、下記のとおり報告する。

記

- 1 事業所要額： 円
- 2 補助金交付決定額： 円
- 3 年度末の収支の状況：年度末収支状況調書に記載のとおり
- 4 事業実施期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
- 5 事業の内容及び年度末の出来高

経費の区分及び工事費の区分	工種・品目・調査の種類等	交付決定		出来高		進捗率 $\left(\frac{(B)}{(A)} \times 100\right)$	国庫補助金の交付済額	備考
		事業量又は数量	事業費(A)	事業量又は数量	事業費(B)			
			円		円	%	円	

- 添付書類：1 年度末収支状況調書  
2 出来高工程表

別記第18号様式（第10条関係）

補助事業等実績報告書  
（新規提供関係事業）

文書番号  
令和 年 月 日

防衛局長  
東海防衛支局長 殿

補助事業者 住 所  
氏 名

令和 年 月 日付け 号で国庫債務負担行為に係る事業として補助金交付決定の通知があった の令和 年度における実績について、下記のとおり報告する。

記

- 1 事業所要額： 円
- 2 補助金交付決定額： 円
- |   |           |       |   |
|---|-----------|-------|---|
| { | 国庫債務負担年割額 | 令和 年度 | 円 |
|   |           | 令和 年度 | 円 |
- 3 年度末の収支の状況：年度末収支状況調書に記載のとおり
- 4 事業実施期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
- 5 事業の内容及び年度末の出来高

経費の区分及び工事費の区分	工種・品目・調査の種類等	交付決定		出来高		進捗率 $\left(\frac{(B)}{(A)} \times 100\right)$	国庫補助金の交付済額		備考
		事業量は数量	事業費(A)	事業量は数量	事業費(B)		年割額		
							令和年度	令和年度	
			円		円	%	円	円	

- 添付書類： 1 年度末収支状況調書  
2 出来高工程表

注： 国庫債務負担行為に係る事業が3か年以上にわたる場合には、国庫債務負担年割額及び年割額の区分について適宜追加すること。



別記第19号様式（第10条関係）

年度末収支状況調書

事業の名称：

1 収入の部

費目	予算額	収入済額	収入未済額	備考
	円	円	円	

2 支出の部

費目	予算額	支出済額	支出未済額	備考
	円	円	円	